



小牧幼稚園 園だより 第366号 2021年4月  
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」  
年主題「共に喜んで」～すべての歩みの中～  
年聖句「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです」  
コリントの信徒への手紙1 12章26章

入園、進級おめでとうございます。

今年の1年は上記の主題をもって過ごして行きます。主題に関しては折々お話ししていく予定です。

卒園式では、毎年同じようなお別れの言葉を贈りしていますが、少しまとめ直し、お伝えします。

『本日はおめでとうございます。コロナで始まり、コロナで終わる1年でしたが、長い子どもで、4年弱、短い子で数カ月余り、この幼稚園で過ごし、私どもと共に同じ空気を吸い、時間を持つことができ、喜んでいきます。本日、57名の子どもが巣立ちます、卒園生が第91回目の卒園式で、5679名の卒園生を見送ることになりました。子どもたちは、幼稚園生活の中で、遊びを通して、仲間を作り、自分たちで育つ力を養ってまいりました。91年の歴史を刻む中、1959年、伊勢湾台風で園舎が全壊しましたが、多くの人に助けられ、公民館をお借りし、1日も休むことなく、続けることが出来ました。しかしながら、今年は2か月余り休園すること、になり残念で申し訳ありませんでした。

子どもたちが自分だけのことを考えるのではなく、隣のお友達のこと、その隣のお友達のことを思える子になってほしいと願っています。例年なら、みどり組の時には、バザーのためのクッキーづくりなど行い、その収益を、多くの求めているお友達に送ってきました。今年ではできませんでしたが、その気持ちは、今年の卒園生もみんな持っていると思います。幼稚園での経験が、隣の友だちの大切さを考えることが出来ると願っています。

今年は、10名の子が、1年間お休みせず、ご褒美をもらいます。ご褒美は、何十年間も電気スタンドをお渡ししています。聖書の中に「灯りをつけ、升の下に置く者はいない、燭台の上に置く。そうすれば家の中のものすべてを照らすのである。そのようにあなたの光を、人々の前に輝かしなさい。」子どもたちが世の光となれるようにと願って、ご褒美を毎年送っています。世の光となることの第一歩は、隣の人の手を繋ぐことから始まると思います。手を繋ぐことにより、楽しい時、共に喜び合え、悲しい時、共に悲しんでくれる仲間ができ、支え合います。そして、その周りに、多くの大人がいて、支援してくれます。いつまでも変わらない小牧幼稚園もあなた方を見守っています。今、あなた方に、「幼稚園は楽しかった」と聞きました。みんな楽しかったと答えてくれました。では、6年後の同窓会、また大人になった時もう一度、「幼稚園は楽しかった？」と聞いたら、「一番楽しかった」と答えたら、私たちは、がっかりします。なぜなら、この子たちは、また明日から、わくわく、ドキドキの毎日が待っていて、新しい隣の人と手を繋ぎ、色々なことに挑戦する、今までの幼稚園生活の上に、もっともっと楽しいことを積み重ねていってほしいのです。神様は、昨日より今日、今日より明日、明日より明後日、と素敵な未来を備えてくださいます。いつも園だよりなので、お伝えしている通り幼稚園は、ふと、帰ってくるができるよう、門はいつも空いています。皆さんの心の故郷で有り続けるよう、小牧幼稚園はいつも待っています。その時は「幼稚園は楽しかった。でも、今が最高！」と言ってもらえたら私も「最高」

です。』

4・5月の給食メニュー

4月20日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
22日(木)	五目御飯		果物
23日(金)	カレーライス		果物
27日(火)	クロワッサン	鶏のから揚げ	果物
30日(金)	竹の子ご飯		果物
5月6日(木)	ミートソーススパゲティ		果物
7日(金)	ひじきご飯		果物
11日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
13日(木)	<b>親子ピクニック 雨天中止時は 弁当をお持ちください。</b> 親子ピクニックについては、別に案内が出ます。		
14日(金)	ドライカレー		果物
18日(火)	ワッフル	鶏のから揚げ	果物
20日(木)	五目うどん		果物
21日(金)	ハヤシライス		果物
25日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
27日(木)	鶏ごぼうご飯		果物
28日(金)	ジャージャー麺		果物

\*食材の都合により、メニューの変更もあります。

☆父母の会会計報告

昨年度はコロナ過の中、園外への役員の出張もなく、あまり支出がありませんでした。収入 繰越 188.757 会費 99.600 支出プール組み立て・解体時のジュース代、卒園式お花代で合計 25.300 今年度へ繰越 263.057 円になりました。

会計は便宜上、園で行っています。

☆今年も、新中学生のための同窓会を、以前のように行うことが出来ませんでした。以前は、幼稚園時代と同じように、礼拝をし、製作をし、ちょっと豪華な、幼稚園給食を頂いていました。今年は、6年前の絵を受け取りに来ていただきました。逆にそのため、新中学生についてきた、お母さん・兄弟姉妹ともゆっくりお話しが出来ました。

三重県から家族で見えた子の兄は、上り棒から落ち、骨折した思い出を話し、一緒に来たお友達は、「実は俺が後ろから押した」という告白があり、昔と変わらず、桜の木の真ん中に登り記念写真を撮って帰っていきました。骨折した兄 H 君は、名古屋のダンスができる高校に入りましたと聞き、その後、新中学生の弟を連れて名古屋市北区から来園した、姉は、「H 君と同じ学校に行ってる、入学試験の面接の日、同窓会以来の3年ぶりに会い、びっくりした。親も勿論、本人同士もすぐわかり、今は楽しい高校生活を送っています」と教えてくれました。幼稚園時代のお話がたまには出るでしょうか？

これには後日談があり、その H 君帰りに、みんなでボーリングに行き、得意のダンスを披露したところ、失敗し、頭を二針縫ったそうです。みんなに昔のまんま、と笑われたそうです。変わらず元気で嬉しいです。